

木更津工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	環境情報・保全工学
科目基礎情報				
科目番号	0068	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境建設工学専攻	対象学年	専1	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	特に定めない。必要に応じて資料を配布する。			
担当教員	湯谷 賢太郎			
到達目標				
都市計画の概観を理解し、今後の都市の在り方について自ら考え意見を述べることができる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
都市計画の基礎	都市計画の基礎的事項について説明できる	都市計画の基礎的事項について概ね説明できる	都市計画の基礎的内容を理解できない	
都市の抱える問題	現在の都市の抱える問題を理解し、解決に向けた取り組みについて説明できる	現在の都市の抱える問題を理解している	現在の都市の抱える問題を知らない	
今後の都市の在り方	今後の都市の在り方について、自らの考えを持ち、それを説明できる	今後の都市の在り方について、自らの意見がある	今後の都市の在り方について、自らの意見がない	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	本講義では、所謂「都市計画」について学ぶ。基本的事項の他に、現在の都市が抱える少子高齢化、人口減少、中心市街地の衰退などについても学ぶ。			
授業の進め方・方法	講義は、板書の他にプロジェクターで図表や写真を提示しながら進める。成績の評価は、出席シート(20%)とレポート(80%)で行う。 参考図書： ・平田登基男，他『都市計画(環境・都市システム系教科書シリーズ)』コロナ社，2007年 ・日笠端，日端康雄『都市計画 第3版増補』共立出版，2015年 ※都市計画関連書籍は教科書以外にも多数出版されているので、ぜひ興味がある本を読んでほしい。			
注意点	本講義は選択科目である。自分の興味や進路などをよく考慮の上、受講してほしい。都市計画は土木環境工学のすべての分野に関連する根本ともいふべき内容であるが、本科では学んでこなかった。特に公務員志望者は是非この機会にしっかりと学んでほしい。また、本講義では学ぶだけでなく、自分の考えをしっかりと持つことが大切である。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	
		2週	都市の歴史と理想都市	
		3週	都市の歴史と理想都市	
		4週	都市計画と関連法規	
		5週	都市計画と関連法規	
		6週	都市計画の策定	
		7週	都市計画の策定	
		8週	土地利用計画	
	4thQ	9週	土地利用計画	
		10週	都市交通と都市交通施設	
		11週	都市交通と都市交通施設	
		12週	都市の抱える問題	
		13週	都市の抱える問題	
		14週	課題の説明と作成	
		15週	課題の説明と作成	
		16週		
評価割合				
	出席シート	レポート	合計	
総合評価割合	20	80	100	
都市計画の基礎	20	40	60	
都市の抱える問題	0	20	20	
今後の都市の在り方	0	20	20	